

2025年5月23日

各位

会社名 株式会社エフアンドエフ  
(コード番号 357A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 藤川 欣洋  
問合せ先 取締役経営企画部長 大塚 裕明  
T E L 0283-21-1260  
U R L <https://e-ff.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は本日 2025年5月23日、株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market に株式を上場いたしました。

今後とも、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりです。

(単位：百万円、%)

項目	2026年3月期(予想)			2025年3月期(実績)	
		構成比	対前期増減比		構成比
売上高	6,207	100.0	+10.7	5,606	100.0
営業利益	442	7.1	+62.1	272	4.9
経常利益	457	7.4	+27.2	360	6.4
当期純利益	300	4.8	+44.6	208	3.7
1株当たり当期純利益	1,002.1円			693.2円	
1株当たり配当金	-			0.00円	

(注)1. 当社は、2025年3月14日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行いました。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 2026年3月期の1株当たり配当金に関して、未定のため記載しておりません。

## 【2026年3月期予想の前提条件】

### 1. 当社グループ全体の見通し

当連結会計年度における我が国経済は、賃金上昇と個人消費の拡大により緩やかな景気の回復が期待されます。しかし経済成長率は高齢化や少子化の影響を受け、労働力人口の減少が進み今後AIを活用する等、持続的な成長を維持する為の政策に注視していく必要があります。

このような経済情勢のもと、当社グループでは弊社理念である「薬局は医療の入り口です」の下、調剤薬局グループとして患者さまに安心してそしてより身近に薬局をご利用いただくため、店舗での健康チェックを始めとしたサービス及び、かかりつけ薬局として地域の住民に欠かせない薬局作り、医薬品供給不足に対応した調剤、在宅医療、今後拡大が見込まれるデジタル化の推進等、質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

### 2. 業績予想の前提条件

#### (1) 売上高

調剤薬局事業において、2025年3月期の新規出店並びにM&Aによる店舗拡大の効果及び、スペシャリティ医薬品の取扱い増加による売上高への寄与を見込んでおります。

また、デジタル化の推進による電子処方箋の応需、オンライン服薬指導に対応し、在宅医療へのより一層の注力等による積上げのもと予測数値の算定を行っております。

これらの結果、売上高は6,207百万円（前期比110.7%）を見込んでおります。

#### (2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、調剤業務に係る医薬品仕入を主として、薬剤師の人件費、レセプトにかかるシステム関連費用等を積上げ計算し算出しております。

これらの結果、売上原価は4,449百万円（前期比103.9%）、売上総利益は1,757百万円（前期比132.8%）を見込んでおります。

#### (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、考課による昇給、採用計画による人件費の増加見込みに加えて、IPO継続開示関連費用、健康チェックシステムにおけるシステム開発費用及び特許申請費用を見込み、その他維持管理費等を考慮したうえで算出しております。

これらの結果、販売費及び一般管理費は1,315百万円（前期比125.2%）、営業利益は442百万円（前期比162.1%）を見込んでおります。

#### (4) 営業外損益、経常利益

営業外収益は、外部への情報提供料や、患者への栄養指導における出向報酬等による収入を算出しております。営業外費用は、借入金返済における利息等の支出を算出しております。

これらの結果、経常利益は457百万円（前期比127.2%）を見込んでおります。

(5) 特別損益、法人税等、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益について発生する事項は見込んでおりません。当期純利益は、法人税等を考慮して 300 百万円（前期比 144.6%）を見込んでおります。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保障するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含みませんがそれらに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

## 2025年 3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月23日

上場会社名	株式会社エフアンドエフ	上場取引所	東
コード番号	357A URL <a href="http://e-ff.jp/">http://e-ff.jp/</a>		
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 藤川 欣洋	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理本部長	(氏名) 大塚 裕明	TEL 0283 (21) 1260
定時株主総会開催予定日	2025年6月24日	配当支払開始予定日	—
発行者情報提出予定日	2025年6月25日		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,606	101.3	272	132.0	360	160.4	208	169.2
2024年3月期	5,535	—	206	—	224	—	122	—

（注）包括利益 2025年3月期 216百万円（177.4%） 2024年3月期 122百万円（—%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	693.2	—	41.1	10.4	4.9
2024年3月期	312.4	—	18.3	6.8	3.7

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,472	610	17.6	2,033.5
2024年3月期	3,186	401	12.6	1,339.0

（参考）自己資本 2025年3月期 618百万円 2024年3月期 401百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	477	△246	△158	665
2024年3月期	232	△204	△230	593

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—
2025年3月期	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—

（注）2026年3月期（予想）については、配当金額は未定のため記載していません。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,207	110.7	442	162.1	457	127.2	300	144.6	1,002.1

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 株式会社プラザメディカル、 除外 0社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	460,000株	2024年3月期	460,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期	159,800株	2024年3月期	159,800株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	300,200株	2024年3月期	393,742株

(注) 当社は2025年2月25日開催の取締役会決議により、2025年3月14日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページの「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済社会活動が活性化し、個人消費の回復やインバウンド需要の増加等を背景に、緩慢ながらも、景気回復の動きが続いております。一方で、エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、金融引き締めによる影響などから、依然として先行き不透明な状態が続いております。このような経済情勢のもと、当社グループでは弊社理念である「薬局は医療の入り口です」の下、調剤薬局グループとして患者さまに安心して、そしてより身近に薬局をご利用いただくため店舗での健康チェックを始めとしたサービス及び医療品の提供に取り組んでおります。

地域社会でのつながりを深め、患者様とクリニックの懸け橋として地域医療体制の安定と向上に貢献するため、新規出店及び在宅・施設調剤の拡大、電子処方箋システム投資やお薬手帳アプリの活用推進等のデジタル化による、患者様の利便性向上及び国が推進する医療DXサービスの実現、積極的な機械化による患者様への迅速かつ正確な医薬品の提供及び薬局薬剤師の生産性向上と労働環境改善などに取り組んでおります。

当連結会計年度における出店状況については、2店舗を新規開局し、新たに株式会社プラザメディカルを連結対象子会社(3店舗)を加えグループ全体では、計51店舗となりました。

その結果、当連結会計年度の当社グループの連結業績は、新規出店、インフルエンザや花粉症など従来型の疾患の受診者数の増加を主な要因とした処方箋枚数の増加等により、売上高5,606百万円(前年同期比1.3%増加)、営業利益272百万円(前年同期比32.0%増加)、経常利益360百万円(前年同期比60.4%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は208百万円(前年同期比69.2%増加)となりました。なお、当社グループの事業セグメントは調剤薬局関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は3,472百万円となり、前連結会計年度末の3,186百万円に対し、286百万円、9.0%増加いたしました。主に、現金及び預金の増加額197百万円によるものです。

負債合計は2,861百万円となり、前連結会計年度末の2,784百万円に対し、77百万円、2.8%増加いたしました。主に、買掛金の増加額90百万円によるものです。

純資産合計は610百万円となり、前連結会計年度末401百万円に対し、208百万円、51.9%増加いたしました。この結果、自己資本比率は17.6%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は665百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、477百万円の収入となりました。主な収入項目は、減価償却費93百万円、仕入債務の増加額27百万円、税金等調整前当期純利益334百万円であり、主な支出項目は、棚卸資産の増加による支払額11百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、246百万円の支出となりました。主に、定期預金の預入による支出120百万円、新規出店による設備投資を主とした有形固定資産の取得による支出60百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、158百万円の支出となりました。主に、長期借入金の返済による支出147百万円によるものです。

### (4) 今後の見通し

当社グループが主に事業を行う調剤薬局業界においては、かかりつけ薬剤師・薬局機能の強化と活用、質の高い在宅医療、医療DX推進体制等への評価に重点を置いた診療報酬改定がなされるなど、地域の医療機関として薬局・薬剤師に求められる役割が拡大するとともに、大きな変化への対応力が求められています。

患者さまにさらなる良質な医療サービスを提供すべく、認定を取得しており、地域の医療機関連携や高度医療のハブとなる薬局店舗作りと高い専門性を有する薬剤師の育成に注力してまいりました。

その一方で、大きく変化する事業環境を成長機会と捉えて今後需要の拡大が見込まれているオンライン服薬指導、在宅医療、スペシャリティ医薬品の取り扱いについては、当事業における注力領域と位置づけ、積極的な成長投資を行っております。

すでに、オンライン医療提供体制の構築、高度医療の拠点病院前への薬局出店を行ってまいりました。

加えて、当社グループでは大きく変化する経営環境への対応やコーポレートガバナンスの強化、サステナビリティ経営の推進といったステークホルダーからの期待に応えるため、資本収益性及び成長性のさらなる改善を図ってまいります。

2026年3月期の見通しにつきましては、調剤薬局事業において、2025年3月期の新規出店効果及びスペシャリティ医薬品の取扱い増加、また在宅医療へのより一層の注力による売上高への寄与を見込んでおります。健康チェックシステム“尊氏”の展開を通じて、地域の皆様から真に必要なとされる薬局を目指し、積極的に取り組むと同時に“尊氏”の発展型である“茉凛”も開発を手掛けていきます。これによりシニア層の健康チェックに加えて、若年層青年層のボディメイクチェックシステムを充実させることでトータルヘルスケア企業への持続的成長を目指します。

以上により、2026年3月期の通期業績予想につきましては、売上高 6,207百万円（前年同期比10.7%増）営業利益 442百万円（同62.1%増）、経常利益 457百万円（同27.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 300百万円（同44.6%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

尚、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 3月31日)	当連結会計年度 (2025年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	684,720	881,778
売掛金	819,464	867,505
商品	312,957	344,768
貯蔵品	2,205	2,738
未取還付法人税等	48,433	-
その他	17,484	24,185
貸倒引当金	△503	△597
流動資産合計	1,884,762	2,120,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	390,978	374,582
車両運搬具 (純額)	7,047	2,061
工具、器具及び備品 (純額)	73,774	70,475
土地	382,622	389,900
リース資産 (純額)	32,709	29,124
その他 (純額)	2,762	5,037
有形固定資産合計	889,894	871,181
無形固定資産		
のれん	24,270	62,758
その他	40,252	32,015
無形固定資産合計	64,523	94,774
投資その他の資産		
投資有価証券	13,701	12,932
関係会社株式	39,431	39,431
繰延税金資産	224,762	229,296
その他	68,988	104,385
投資その他の資産合計	346,884	386,045
固定資産合計	1,301,302	1,352,001
資産合計	3,186,065	3,472,378

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 3月31日)	当連結会計年度 (2025年 3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	840,463	930,911
短期借入金	150,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	147,064	95,724
リース債務	21,385	17,471
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	2,094	119,858
賞与引当金	91,633	86,640
その他	148,909	149,004
流動負債合計	1,421,549	1,599,611
固定負債		
長期借入金	492,391	396,667
社債	60,000	40,000
リース債務	31,168	24,108
退職給付に係る負債	14,988	16,568
役員退職慰労引当金	512,330	528,826
資産除去債務	251,661	256,131
固定負債合計	1,362,540	1,262,300
負債合計	2,784,089	2,861,912
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	85,200	85,200
利益剰余金	882,549	1,090,647
自己株式	△665,145	△665,145
株主資本合計	402,604	610,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△628	△236
その他の包括利益累計額合計	△628	△236
純資産合計	401,975	610,465
負債純資産合計	3,186,065	3,472,378

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,535,220	5,606,201
売上原価	4,301,495	4,282,989
売上総利益	1,233,725	1,323,212
販売費及び一般管理費	1,026,959	1,050,306
営業利益	206,765	272,905
営業外収益		
受取利息	5	294
受取配当金	9,396	130
補助金等収入	8,624	81,140
情報提供料収入	2,419	2,143
その他	4,481	11,183
営業外収益合計	24,927	94,891
営業外費用		
支払利息	3,516	6,088
その他	3,631	1,639
営業外費用合計	7,147	7,727
経常利益	224,545	360,070
特別利益		
固定資産売却益	219	-
投資有価証券売却益	590	-
店舗譲渡益	7,676	-
特別利益合計	8,487	-
特別損失		
固定資産除却損	44	396
固定資産売却損	74	-
投資有価証券評価損	-	1,365
減損損失	32,223	23,788
特別損失合計	32,341	25,549
税金等調整前当期純利益	200,690	334,520
法人税、住民税及び事業税	17,285	131,160
法人税等調整額	60,419	△4,737
法人税等合計	77,704	126,422
当期純利益	122,985	208,098
親会社株主に帰属する当期純利益	122,985	208,098

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	122,985	208,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△815	391
その他の包括利益合計	△815	391
包括利益	122,170	208,489
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	122,170	208,489
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	85,200	759,563	-	944,763
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する 当期純利益			122,985		122,985
自己株式の取得				△665,145	△665,145
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	122,985	△665,145	△542,159
当期末残高	100,000	85,200	882,549	△665,145	402,604

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他包括利益 累計額合計	
当期首残高	186	186	944,950
当期変動額			
剰余金の配当			-
親会社株主に帰属する 当期純利益			122,985
自己株式の取得			△665,145
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△815	△815	△815
当期変動額合計	△815	△815	△542,974
当期末残高	△628	△628	401,975

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	85,200	882,549	△665,145	402,604
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する 当期純利益			208,098		208,098
自己株式の取得				-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	208,098	-	208,098
当期末残高	100,000	85,200	1,090,647	△665,145	610,702

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△628	△628	401,975
当期変動額			
剰余金の配当			-
親会社株主に帰属する 当期純利益			208,098
自己株式の取得			-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	391	391	391
当期変動額合計	391	391	208,489
当期末残高	△236	△236	610,465

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	200,690	334,520
減価償却費	104,849	93,164
減損損失	32,223	23,788
のれん償却額	59,874	24,270
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△110	49
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,116	△4,992
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△107,670	16,496
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,078	1,579
受取利息及び受取配当金	△9,402	△424
支払利息	3,516	6,088
投資有価証券売却益	△590	—
店舗譲渡益	△7,676	—
固定資産除却損	44	396
固定資産売却益	△219	—
固定資産売却損	74	—
投資有価証券評価損	—	1,365
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,789	8,291
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,198	△11,718
仕入債務の増減額 (△は減少)	73,931	27,481
その他	46,512	△68,716
小計	353,494	451,638
利息及び配当金の受取額	9,402	424
利息の支払額	△3,516	△6,088
法人税等の支払額	△126,448	31,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,932	477,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△103,000	△120,023
定期預金の払い戻しによる収入	7,000	—
有形固定資産の取得による支出	△64,273	△60,058
有形固定資産の売却による収入	1,435	—
無形固定資産の取得による支出	△27,545	△21,108
投資有価証券の取得による支出	△7,500	—
関係会社株式の取得による支出	△29,431	—
子会社株式の取得による支出	—	△17,195
投資有価証券の売却による収入	4,090	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△28,462
店舗譲渡による収入	15,175	—
資産除去債務履行による支出	△2,860	—
その他	2,515	458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,392	△246,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	30,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△121,740	△147,064
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△23,702	△21,873
自己株式取得による支出	△665,145	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,587	△158,937
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△202,047	72,033
現金及び現金同等物の期首残高	795,768	593,720
現金及び現金同等物の期末残高	593,720	665,754

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」が2025年3月31日に国会で成立したことに伴い2026年4月1日以後開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率を34.3%から35.1%に変更し計算しております。この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、調剤薬局事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,339.0円	2,033.5円
1株当たり当期純利益	312.4円	693.2円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 当社は、2025年3月14日付で株式1株につき20株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益が算定されております。  
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	122,985	208,098
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	122,985	208,098
普通株式の期中平均株式数(株)	393,742	300,200

(重要な後発事象)

該当事項はありません。